

—— 主な内容 ——

P2 令和7年度事業 ピックアップ

P9 常任委員会報告

P13 市政を問う「一般質問」

P19 議会のうごき



令和7年度事業ピックアップ

定住促進対策事業

1億226万円

【事業目的】

定住・移住に関する支援を行い、市内の方の定住および市外の方の移住を促進し、人口減少対策および地域コミュニティの維持・活性化を図る。

【事業概要】

- ①定住促進奨励補助金 **【拡充】**
 - ・新築住宅取得補助金
 - ・中古住宅購入補助金
 - ・55歳以上も対象とする
- ②移住促進空き家リフォーム補助金 **【拡充】**
 - ・空き家バンク登録物件以外も対象とする
 - ・3親等以内の親族間の契約も対象とする
- ③若者Uターン家賃補助金
- ④お試し住宅の運営
- ⑤空き家等情報登録制度（空き家バンク）の運営
- ⑥空き家バンク登録奨励金
- ⑦空き家活用促進奨励補助金
 - ・空き家物件調査補助金
 - ・家財道具等片付け補助金
 - ・空き家仲介手数料補助金
- ⑧定住促進奨学資金償還補助金
- ⑨地域産業雇用創出チャレンジ支援事業移住支援金
- ⑩高校生寮費等支援補助金
- ⑪子育て世帯向け空き家活用事業補助金
- ⑫ながさき移住サポートセンターとの連携
- ⑬移住希望者などに対する情報発信など
- ⑭**移住者紹介特典事業** **新規**



雲仙市に
住もう



【内容】 雲仙暮らしの魅力を紹介した雲仙市民および紹介をきっかけに県外より本市に転入された移住希望者に対し、市の特産品を贈呈する。

※詳細は地域づくり推進課へお尋ねください

予防接種事業

1億6,054万円

【事業目的】

罹患すると重症化しやすい高齢者に対し、発病予防、症状の軽減を目的として、インフルエンザワクチン、新型コロナワクチン、肺炎球菌ワクチン、带状疱疹ワクチンの接種を行う。

【事業概要】

①高齢者インフルエンザ予防接種および新型コロナ予防接種

〔内 容〕 季節性インフルエンザおよび

新型コロナウイルス感染症予防のため実施

〔対 象 者〕 接種日に65歳以上の方

特例として、接種日に60歳以上65歳未満の方で、

心・肺・腎機能・ヒト免疫不全の障がいにより、日常生活のほとんどが困難な方

②高齢者肺炎球菌予防接種

〔内 容〕 高齢者の肺炎予防のために、原因菌として

最も多い肺炎球菌のワクチン接種を実施

〔対 象 者〕 接種日に65歳の方

特例として、接種日に60歳以上65歳未満の方で、

心・肺・腎機能・ヒト免疫不全の障がいにより、日常生活のほとんどが困難な方

③带状疱疹予防接種（定期接種化）



【内容】 带状疱疹の予防および症状軽減のため実施

【対象者】

65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳以上（5年間の経過措置）

60歳から65歳未満のヒト免疫不全ウイルスによる免疫不全の機能障害を有する人



愛野地区排水対策事業【新規】

4,700万円

【事業目的】

愛野地区では新興住宅地の開発が進んでおり、地区内の排水流量の変化に伴い、既設の側溝などの断面が不足し、周辺道路などで冠水被害が発生している。

そのため、防災の観点から側溝などの整備を行い、安全で安心な環境整備を図る。

また、治水対策として氾濫が発生している河川の整備検討や調整池の設置検討を行う。

【事業概要】

①市道愛野今木場線排水対策工事 L=140m

②愛野地区治水対策検討資料作成業務



子どもの遊び場整備事業

3億8,567万円

【事業目的】

子育て環境を充実させ、本市への移住・定住を促進するため、既存施設を活用した全天候型の子どもの遊び場の整備を図る。

【事業概要】

- 〔事業内容〕 ①旧瑞穂ヘルシー会館（みずほすこやかランド内）の改修工事
②遊具や施設に必要な備品の購入
③施設の名称募集



高校魅力向上事業

732万円

【事業目的】

市内の高校が行う魅力向上にかかる取り組みを支援することにより、市内高校への進学者の増加を図り、ひいては地域の活性化に結び付ける。

【事業概要】

- ①県立高等学校魅力向上支援事業補助金

補助対象事業	補助額
魅力ある高等学校づくりに関する事業	10/10 以内
人材育成に関する事業	
補助の目的を達成するために市長が必要と認める事業	
オンライン学習支援事業	



- ②地域おこし協力隊の活動 新規



【内容】 国見高等学校を拠点に、スポーツ教室の企画・運営、サッカー部指導などの地域協力活動を通した高校の魅力発信に取り組む。

地球温暖化対策事業

2,587万円

【事業目的】

脱炭素社会の実現に向け、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロとするために、地球温暖化対策事業を推進する。

【事業概要】

①温泉熱を活用したバイオディーゼル燃料の製造および普及活動の推進

②市有施設におけるエネルギー使用量（二酸化炭素排出量）の把握

③市役所本庁舎への太陽光発電設備設置にかかる基本・実施設計業務



④太陽光発電設備および蓄電池購入補助金（100万円を上限）

〔補助単価（個人設置型）〕

太陽光設備：7万円/kW、

蓄電池：蓄電池の税抜価格の1/3（15.5万円/kWh上限）

〔補助単価（事業者設置型）〕

太陽光設備：5万円/kW、

蓄電池：蓄電池の税抜価格の1/3（19万円/kWh上限）



令和6年度 一般会計補正予算(第8号)の主な事業

農業燃油価格対策支援事業【新規】

1,234万円

漁業燃油価格対策支援事業【新規】

1,970万円

【事業概要】

農・漁業用燃油価格が高騰し、施設園芸における農業経営、漁業経営に多大な影響を与えていることから、農・漁業者の負担を緩和するとともに、価格高騰時に補填金を交付する仕組みへの加入を促進することにより、経営の安定を図る。



【事業概要】

①対象期間：令和6年10月1日～令和7年3月31日（農業）

令和6年 4月1日～令和7年3月31日（漁業）

②交付条件：施設園芸セーフティネット加入者および加入見込者

漁業経営セーフティネット加入者

③補助対象：施設園芸の加温用燃油として使用するA重油の購入代金

漁業用として使用するA重油の購入代金

④補助単価：対象燃油1ℓ当たり10円以内（補助限度額100万円以内）

漁業は前期（4月～9月）、後期（10月～3月）それぞれ100万円以内

燃油高騰等対策事業継続支援事業【新規】 6,838万円

【事業目的】

燃油高騰や最低賃金の上昇などの影響による経費の増加に伴い、厳しい経営環境にある中小事業者などに支援金を支給し、事業継続を支援する。

【事業概要】

〔事業内容〕 市内の中小事業者などに対し、1事業者当たり5万円を支給

〔申請要件〕 ①市内に事業所または営業所を有する法人または個人（社会福祉法人、病院等含む）
※農林漁業者などを除く

②令和7年4月1日に市内で事業を営んでおり、それ以降も事業を継続する法人または個人

③申請日までに雲仙市税（国保税を含む）に滞納がない者等

〔申請締切〕 令和8年1月30日まで



物価高騰対策消費喚起事業【新規】

9,385万円

【事業目的】

エネルギー・食料品価格などの物価高騰の影響により厳しい生活環境にある市民の負担の軽減と、小売業者・飲食業者などの支援のため、商品券の配布による消費喚起を図る。

【事業概要】

〔事業内容〕 市内全世帯へ市民1人当たり2,000円の商品券を配布

〔対象者〕 令和7年4月1日現在、住民基本台帳に登録されている市民

〔配布時期〕 令和7年7月中を予定

〔使用期限〕 令和7年12月31日まで

〔換金期限〕 令和8年1月30日まで（登録店舗の換金請求期限）



令和7年第1回雲仙市議会臨時会(R7.1.27開催) 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 1 号	雲仙市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 2 号	雲仙市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 3 号	令和6年度雲仙市一般会計補正予算（第6号）案について	原案可決
議案 第 4 号	令和6年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 5 号	令和6年度雲仙市水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決
議案 第 6 号	令和6年度雲仙市下水道事業会計補正予算（第3号）案について	原案可決

令和7年第1回雲仙市議会定例会 議決結果

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 7 号	雲仙市企業版ふるさと納税基金条例の制定について	原案可決
議案 第 8 号	雲仙市都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定委員会設置条例の制定について	原案可決
議案 第 9 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例について	原案可決
議案 第 10 号	雲仙市職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び雲仙市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 11 号	雲仙市税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 12 号	雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 13 号	雲仙市水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 14 号	雲仙市水道事業給水条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 15 号	雲仙市下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 16 号	雲仙市公共下水道条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 17 号	雲仙市都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 18 号	雲仙市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 19 号	雲仙市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	原案可決
議案 第 20 号	雲仙市瑞穂ヘルシー会館の設置及び管理に関する条例を廃止する条例について	原案可決

議案番号	事 件 名	議決結果
議案 第 21 号	損害賠償の額の決定及び和解について	原案可決
議案 第 22 号	令和6年度雲仙市一般会計補正予算（第7号）案について	原案可決
議案 第 23 号	令和6年度雲仙市一般会計補正予算（第8号）案について	原案可決
議案 第 24 号	令和6年度雲仙市国民健康保険特別会計補正予算（第4号）案について	原案可決
議案 第 25 号	令和6年度雲仙市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）案について	原案可決
議案 第 26 号	令和6年度雲仙市温泉浴場事業特別会計補正予算（第2号）案について	原案可決
議案 第 27 号	令和7年度雲仙市一般会計予算案について	原案可決
議案 第 28 号	令和7年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案について	原案可決
議案 第 29 号	令和7年度雲仙市後期高齢者医療特別会計予算案について	原案可決
議案 第 30 号	令和7年度雲仙市国民宿舎事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 31 号	令和7年度雲仙市温泉浴場事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 32 号	令和7年度雲仙市企業誘致用地整備事業特別会計予算案について	原案可決
議案 第 33 号	令和7年度雲仙市水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 34 号	令和7年度雲仙市下水道事業会計予算案について	原案可決
議案 第 35 号	加例川・井手ノ上辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について	原案可決
議案 第 36 号	字の区域の変更について	原案可決
発議 第 1 号	刑法等の一部を改正する法律の施行に伴う議会関係条例の整理等に関する条例について	原案可決

賛 否 表

※本会議において否決および賛否が分かれた議案について掲載しています。	議席番号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
	結 果	表 決 数	藤本 淳次郎	山本 松一	大山 真一	矢崎 勝己	前田 哲	渡辺 勝美	佐藤 義隆	林田 哲幸	坂本 弘樹	酒井 恭二	平野 利和	深堀 善彰	上田 篤	松尾 文昭	大久保 正美	元村 康一	小田 孝明	町田 康則
雲仙市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	可決	15:2	○	○	○	●	▲	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
令和7年度雲仙市国民健康保険特別会計予算案	可決	15:2	○	○	○	●	▲	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○

○賛成 ●反対 ▲欠席 ※議長（小畑吉時）は、採決に加わらない。

総務

委員会

委員長 平野 利和
副委員長 渡辺 勝美
小畑 吉時
元村 康一
上田 篤
酒井 恭二
山本 松一

消防出初式

問

消防出初式の式典会場の開催場所を屋内へ変更する検討はしていないのか。

答

令和7年の消防出初式後に消防団正副支団長会議があり、その中で来年の式典会場については屋内で実施したい旨の意見が7支団から出ている。正式な決定ではないが、令和8年の消防出初式の式典は屋内での実施に向けて検討している。

市民安全課

公共交通対策事業

問

公共交通対策事業に関する島原鉄道の今後の在り方について、現時点では、まだ県の方針は定まっていないようであるが、今後、市としてはどのように対応していくのか。

答

今後開催予定の島原鉄道活性化検討部会で方向性が見えるが、長崎県議会でも「路線バスへの転換は厳しい」、「上下分離方式は自治体の負担が大きいの」との説明があつているので、そのような報告があると予想される。

政策企画課

結婚応援事業

問

「出会いから出産までの切れ目ない支援」とあるが、まず出会いがないと何も始まらない。結婚支援や婚活イベント支援にむとと力を入れる必要があるのではないのか。

答

行政が主催する「婚活」という言葉を使ったイベントには参加者が少ないという状況がある。今後は、「婚活」を前面に出すことなく、まずは男女が交流の場で出会い、知り合いになることができるイベントを島原半島3市合同で企画し開催していきたい。

地域づくり推進課

高校魅力向上事業

問

地域おこし協力隊の活動が新規事業として計画されているが、どのような事業内容となるのか。

答

プロサッカーチームの指導経験者や現役サッカー選手などに国見高等学校サッカー部の指導に携わっていただく。また、地域でのスポーツ教室の企画や国見高等学校の広報活動なども総合的に担っていただく予定である。

政策企画課



文教厚生

委員会

委員長 藤本淳次郎		小田 孝明
副委員長 坂本 弘樹		松尾 文昭
林田 哲幸	深堀 善彰	

国民健康保険税

問 国民健康保険税を引き下げるための取り組みをもっとしていくべきではないのか。

答 医療費が高くなっているため、保健事業に熱心に取り組むことや、ジェネリック医薬品の使用、重複多剤服薬者への指導などの取り組みを行いながら、医療費を削減していきたい。

総合窓口課

民間教育・保育施設給付

問 各園への給付費の計算はどのようになっているのか。

答 園児1人当たりの単価を国が決めており、園の利用定員や子どもの年齢によつて単価が異なる。国の公定価格の改定により、令和6年4月にさかのぼつて新単価で計算を行い、差額分を算出し給付する予定である。

子ども支援課

浄化槽設置整備事業

問 浄化槽維持管理費助成金はいくらなのか。

答 浄化槽清掃については、一律1万2千円の助成である。長崎県浄化槽協会が行う定期検査については、5人槽から10人槽が5千円、11人槽から20人槽が6千円、21人槽以上が7千円の助成である。

問 浄化槽清掃の助成方法はどうなっているのか。

答 清掃に要した費用から助成金を控除した額を清掃業者に支払い、清掃業者が助成金分を市に請求することとなる。

意見 助成金の制度を市民にもっと周知すべきである。

答 市からも市民に周知し、事業所からも周知していただくことを願っています。

環境政策課



現地視察（小浜小学校校舎外壁等改修工事）

産業建設

委員会

委員長	前田 哲	町田 康則
副委員長	大山 真一	大久保正美
	佐藤 義隆	矢崎 勝己

燃油高騰等対策 事業継続支援事業

問 支援内容と支給方法はどのように行うのか。

答 これまでは、市内事業者に対し従業員数に応じて3万円から5万円の支援金を支給していたが、今回は従業員数や個人・法人関係なく一律5万円を支給するよう変更し、令和7年4月から令和8年1月末まで商工労政課および各総合支所で申請を受け付けて支給する。

商工労政課

観光まちづくり推進事業

問 具体的な事業内容は何か。

答 県が採択した観光まちづくりに関する事業に対して補助金を交付するもので、令和7年度については、雲仙観光局が申請を予定している。内容は、千々石地区から南串山地区の観光商品と、瑞穂地区から愛野地区の観光商品の開発が予定されており、地域の方などと、まち歩きや体験プログラムなど地域に根差した商品の開発に向け意見を出し合い、雲仙観光局が取りまとめを行う。

観光物産課

イノシシ等被害防止 対策事業

問 イノシシ等被害防止対策事業について、防護柵の長さはどの程度を見込んでいるのか。

答 ワイヤメッシュ柵約50km、電気柵約6kmを予定している。毎年要望件数が増えており、今後も引き続き国の補助を活用して防護対策を図っていくたい。

問 防護柵も大事であるが、捕獲に力をいれるべきではないのか。

答 猟友会の若手の後継者が増えるよう独自の研修会や対策について、猟友会と協議を進めていく。

農林課

立地適正化計画策定事業

問 人口減少が進む時代にどのような計画を策定するのか。

答 立地適正化計画は、今後の人口減少、高齢者の増加といった課題に対し、将来にわたって都市を維持できるよう効率のよいまちづくりを目指していくことを目的としている。エリアを指定し住宅などを誘導するような補助制度も活用できる。

監理課



現地視察（市道加例川線改良事業：南串山町）

議会広報編集特別委員会 令和7年1月9日～11日



議会だよりの編集・発行に関する調査

埼玉県横瀬町



横瀬町議会では、従来の「よこぜ議会だより」から「よこぜ議会ナビ」と名称を変更し、デザイン変更などイメージを一新した。議会での討論や質疑などの審議経過をお知らせし、記事関連の動画も掲載するなど、委員が撮影編集に挑戦している。

町民インタビューや一般質問の関連写真を積極的に掲載することを取り入れており、町民インタビューの記事を多く掲載している。

今後の課題としては、多くの住民に読んでもらうためのインタビュー記事、写真、関連動画の充実を図りたいとのことであった。

長野県御代田町



御代田町議会では、委員は副議長、常任委員長を含め2つの委員会から4人ずつになるよう立候補および議長指名により8人で構成している。

町民の手に取って読んでもらうことを協議して、表紙には子ども主体の写真が掲載されている。また、みんなの声として町民の写真と声を載せて家族、親戚、知り合いなどにまず読んでもらうことから始めている。

議案の質疑内容が町民に分かりやすくなっており、また、過去の質問がどのように町政に反映されたかを特集記事として掲載されており大変参考となった。

地方議会広報セミナーの受講（日本広報協会）

東京都新宿区



議会広報の考え方として、「誰のための広報か」とは、住民のためであり、届かない広報は税金と時間の無駄遣いとなるので、手に取って読んでもらう仕掛けを講ずるべきである。地域が舞台で人が主役の観点から住民主役の記事を掲載する。

議案審議のページは、報告書にならないよう住民の関心が高い案件を優先する。また、読みやすい文字の大きさ、行間、線の太さ、イラストや写真の活用、視線誘導のコツなどの多くの技法を学ぶことができた。

本市議会だよりの編集について、講師の診断により、各種アドバイスを受けることができ大変参考となった。

市政を問う 11人の議員が一般質問



もとむら 康一…… P 13
 やすかず あつし
 上田 篤…… P 15
 はやしだ てつゆき
 林田 哲幸…… P 17

やまもと 松一…… P 14
 ひらの としかず
 平野 利和…… P 16
 やざき かつみ
 矢崎 勝己…… P 18

まちだ 康則…… P 14
 ふかほり よしあき
 深堀 善彰…… P 16
 おだ こうめい
 小田 孝明…… P 18

さかもと ひろき
 坂本 弘樹…… P 15
 まつお ふみあき
 松尾 文昭…… P 17

一般質問は、質問者自身が会議録をもとに原稿を作成しています。



一般質問動画

職員不祥事と再発防止



もとむら やすかず
 元村 康一 議員
 (会派：市民の会)

議員 昨年12月26日付で4人の職員が懲戒処分された。合併から79件、ここ3年間は毎年不祥事が起きている。市は、人口減少問題や少子高齢化対策、このようなことから生じる財政運営の安定化等々の課題を抱え、市政発展のため市長、職員が一丸となって対応すべき状況の中、市民の信頼を失墜させ、真面目に頑張っている職員にとっては迷惑なことである。市長はこの状況をどのように考えているのか。

市長 今回の不祥事の内容は公文書の毀棄や虚偽の報告、事務処理遅延などの事案である。法令遵守や倫理観に対する危機的状況と捉え、緊急に

全職員に訓示を行った。市全体として反省し、厳正な服務規律の確保および徹底した綱紀粛正により再発防止と信頼回復に取り組む。

職員の意識改革は

議員 職員の研修・教育はもとより、特に管理職の研修が重要であると思う。市条例に職員を管理監督する立場にある者は、その職務の重要性を自覚し、職員の公正な職務の遂行および倫理の保持に努め、その行動を適切に指導監督しなければならないと記されている。今後の対応は。

総務部長 管理職は組織の運営や職員の管理指導において重要な役割を担っており、その資質向上は市全体の業務の質に直結することから、職員の育成や組織の活性化につながるよう管理職研修の充実を図る。

他の質問
 ・挨拶の励行

ハラスメント調査結果



一般質問動画



やまもと まついち
山本 松一 議員
(会派：新たな風)

議員 市職員へのハラスメント調査は実施したのか。

総務部長 職員および会計年度任用職員703名中229名から回答があり、45名がハラスメントと思われる行為を受けていた。上司から部下へが90%と大部分を占めていた。

議員 管理職のハラスメントの認識が薄くはないか。他県では、パワハラによる自殺もあっているが、被害を受けた職員への今後の対応は。

部長 管理職の意識啓発研修を通じた防止策を行いたい。

議員 被害者は、眠れない、通院や服薬、入院などの影響も出ているので、人権侵害に当たるハラスメントについては、今後、更なる重大な結果を招かないように強く指導して、早期の問題解決を願う。

自治会活動は

議員 自治会の加入状況は。

地域振興部長 1万7704世帯中、1万3002世帯で、73.44%である。5年前から278世帯の減となっている。

議員 自治会加入促進チラシは、市内一律ではなく、各自治会で行事は異なるので、各自治会単位の加入促進チラシを作っているのか。

部長 自治会長連合会等の意見を聞き内容を協議する。

議員 相次ぐ自然災害の発生により、地域コミュニティーの役割や重要性が再認識されているので、多くの自治会加入に繋がるよう期待する。

千々石少年自然の家は

議員 3千人を超す署名を付けて存続を要望してきたが、県教委は廃止を進めている。市民の切実な要望をあまりにも軽視しているので、市長から知事に直接存続要望しては。

市長 既に要望しているのので、新たな要望はしないが、動向を注視する。

防災対策の進捗状況



一般質問動画



まちだ やすのり
町田 康則 議員

議員 昨年2月、防災について質問した。雲仙地区には多い時、宿泊者と住民で2597人いるのに、備蓄食料が186人分しかなく、あまりにも少ないのではと述べたが、この1年間の進捗状況は。

総務部長 現在、雲仙地区には2186人分を備蓄している。

議員 昨年の能登半島の和倉温泉の災害からしても、大変喜ばしい限りです。

大規模災害になれば、近隣自治体も同時に被災するので、少し離れた他県の自治体と協定を結ぶことが必要になる。姉妹都市である鹿児島県霧島市と災害協定を結んだらと提案したが、どうなったのか。

部長 議員からの提案を受け、霧島市も令和7年1月に災害協定書（案）の決裁を完了したとのことで、協定締結を進めていく。

避難所の要であるボランティアの育成は

議員 2016年に発生した熊本地震では、死者・行方不明者277人のうち災害関連死が、222人で約8割を占めた。石破総理大臣も、所信表明で熊本地震で健康を害するなどして、災害関連死が、直接死の4倍に及んだことにふれ、災害関連死ゼロを実現すべく避難所の在り方を見直すとしている。避難所では、トイレや寝床などの生活環境を整え、高齢者や障がい者が孤立しない配慮を要する。

市も災害関連死を重く考え、避難所運営に精通したボランティア育成を考えては。

総務部長 ボランティアと連携した訓練に取り組む。



一般質問動画

子育て支援の充実

小児科専門医の誘致

議員 小児科専門医の設置に向けて、どのような努力をしているのか。

健康福祉部長

市合併以前から要望があり、大学病院を通じて医師確保に取り組んでいるが、開設に至っていない。現在、長崎大学病院から島原病院に2名の小児科医を派遣いただいている。また、県央地区では諫早総合病院内に、こども準夜診療センターが開設され、午後8時から11時まで小児の初期診療が実施されている。

産後ケア申請の簡素化

議員 産後ケアを受ける際の申請を簡素化できないのか。

健康福祉部長

産後ケア事業は、平成27年度に県のモデル



さかもと ひろき 議員
坂本 弘樹



子育て休暇の導入を

議員 子育て支援に必要なのが、祖父母の手助けである。定年延長で就業年齢も伸びており、まずは行政から「子育て休暇」の導入をお願いする。他市の事例などを参考に研究をしていく。

総務部長 他市の事例などを参考に研究をしていく。

介護保険の問題と課題



一般質問動画

議員

介護保険は、高齢者に公的な介護サービスを提供する制度で、2000年4月からスタートした。状況はひどくなるばかりだ。保険料が上がり、低年金・貧困の高齢者も増える中、滞納も増え高齢者のくらしを脅かしている。介護利用にも大きな壁がある。第1が要介護認定の壁。第2が基盤不足の壁。第3が利用者負担の壁。第4が保険料負担の壁。認定されても施設がなかったり、利用料を負担できなければサービスは受けれず、保険料を滞納すると利用を制限されたりする。このように高齢者にとって間違いだらけの制度ではないのか。



うえだ あつし 議員
上田 篤

次に訪問介護の問題についてだが、昨年訪問介護の基本報酬が引き下げられた。急激な物価高騰など経営が苦しい上での引き下げで、全国で訪問介護事業所の倒産が加速し、昨年12月末現在で事業所ゼロの自治体が107町村、残り一つの自治体が272市町村となった。本市では経営が苦しく倒産する心配のある事業所はないのか。

市長

介護保険制度においては、滞納があってもサービスを受けられないことはない。本市も高齢化率が年々上昇しており、要介護者の増加も予想される。介護予防事業を強化することが課題となる。

議員

事業所の維持と職員の人手不足克服には、国庫負担割合の大幅増以外に解決策はない。本市も地方の声を連携して、国に届けるべきではないか。働きかけを強く求める。

※他の質問は上部の二次元コードからご覧ください。



一般質問動画

施設命名権で予算確保



ひらの としかず
平野 利和 議員
(会派：創新・公明)

議員 福岡ドームは、みずほペイペイドームと呼び名が変わり、金額で12億円の契約を結んでいる。このように小浜体育館や愛の夢未来センターを企業に募集して収益を得る。その収益で維持管理費を賄う。他の自治体も財源不足を補っており、検討する価値はあると思うが。

財務部長 市の施設に愛称等を付与させる代わりに、当該団体から対価を得て施設の持続可能な運営に資する方法がある。市の厳しい財政状況の中、安定的な財源確保により持続可能な施設運営を行う効果的な取り組みだ。導入に向けて関係課と協議を進める。

健康福祉部長 フルミストについては、皮下注射と比べ痛みがなく、1回の接種で済む点において子どもや保護者の負担軽減につながっている。業務を委託している医療機関等と協議していく。

議員 小さな子どもたちは注射が嫌いだ。フルミストワクチンとは、注射の接種ではなく、霧状の薬を鼻に吹き込むワクチンだ。通常のインフルエンザワクチン接種は、小学生で2回の接種が必要と聞いている。フルミストワクチン接種を希望する児童にはフルミストを行い、その接種補助ができないのか。

フルミストワクチン接種を



一般質問動画

市長の所信を問う



ふかほり よしあき
深堀 善彰 議員
(会派：新たな風)

議員 人口減少が本市の最重要課題である。その解決のための地域経済の活性化、雇用創出の対策は。

市長 人口減少や若者の転出などによる人手不足が顕著であることから、基幹産業である農業や観光業をはじめ、製造業、商業などの市内産業の維持・発展を図るためには、企業誘致や起業支援により若者に魅力的な雇用の場の創出に取り組むとともに、高校等の新卒者やU・Iターン者などの市内事業所への就職促進に取り組む必要がある。また、昨今、外国人を雇用される事業所が増加していることから、新たに外国人雇用支援金の支給と外国人の就労・居住環境などの整備に対する支援に取り組む。

り組み、市内事業所の雇用にかかる負担軽減を図りたい。

観光商工部長

市内に約2

千事業者があるが、そのうち約65%が従業員5人以下の小規模事業者と推計されることから、事業者の事業継続、事業承継、従業員の採用・育成など、きめ細やかに取り組む必要がある。令和7年度の商工関係の当初予算案については、商工会事務局と意見交換しながら、限られた予算で最大の効果が得られるよう取り組む。若者の就労支援については、令和7年度から新たに新卒者等就職支援事業に取り組む。

令和6年度の企業誘致の取り組み状況は、半導体関連産業や金属加工業などの製造業を中心に幅広い業種への誘致活動を行い、現時点での令和6年度の活動件数は132件であり、そのうち4社が多比良港工業団地を視察した。

※他の質問は上部の二次元コードからご覧ください。

愛野排水路整備計画

一般質問動画



まつ お ふみ あき 議員
松尾 文昭

排水路の整備計画

議員

愛野地区においては、新興住宅の開発が進んでおり、集中豪雨になると、色んな箇所でも河川の氾濫、土砂災害、集落が孤立するなどの被害が発生している。特に排水路の整備は必要不可欠であると思うが市の見解を。

市長

愛野地区においては、宅地開発が進んでいる状況を踏まえ、河川や主要な排水路等の流下能力、排水路の機能不全箇所および冠水に関する調査を実施した。この調査結果を基に、治水対策にかかる整備方針を策定する。今後さらに詳細な調査を行う必要があるため令和7年度当初予算へ治水対策にかかる費用を計上、また緊急的な対応が必要

な箇所は優先的に進める。

田端地区排水路改修

議員

この地域は従来から未整備地区で、豪雨があるたびに流木や土石流が流れ、多くの被害をもたらしている。地域からの要望書も提出されているが、改修の考えは。

建設部長

未整備区間や工事にかかる進入路の現地測量を行い、その後詳細設計および用地確保を進め、地元と協議調整の上、整備を進める。

市道迫原線の道路改修

議員

幅員が狭く排水路もない。一本松道路の未解決分と合わせて改修を。

建設部長

当該地区周辺は、住宅建設が進んでいるため、一本松線も合わせて、整備方針を考えたい。

関・首塚線の改修

議員

今後の関・首塚線の改修についての考えは。

建設部長

用地取得ができないことから、事業中止を考えている。

市民に寄り添って



一般質問動画

施政方針

議員

未来創生課を新たに設置される理由は

市長

年々財政が厳しくなる中、雲仙市が未来に向けて地域をつくっていくことを目的に未来創生課を新設する。

議員

移住促進空き家リフォーム補助金の拡充内容は

地域振興部長

空き家バンク登録以外も対象。また、3親等以内の親族が所有する物件も対象とし、空き家活用を促進したい。

議員

一般国道富津防災について、用地協議の中で不安を抱かれる地権者に対し、市としてしっかりと寄り添ってほしいと思うが、今市として考えられる対応は

建設部長

用地が公共の施



はやしだ てつ ゆき 議員
林田 哲幸
(会派：新たな風)

設等で利用ができる場合、残地の取得などが検討できると思っている。

議員

残地については、例えば市道、里道に隣接しているならば、市が道路として買い上げていくなど積極的にやってみてほしい。

小浜地域の町づくり

議員

小浜地域における総合支所を含む公共施設の整備について、どのような扱いになっているのか。

財務部長

小浜総合支所については支所機能と図書室機能を有する施設を基本に、バス待合機能を含め、候補地や整備内容、整備手法を検討してきたが、国道57号富津防災の建設残土処理に伴う小浜港の埋め立て協議が始まり、建設候補地の選択肢となり得る可能性が期待されるので、今後研究させてもらいたい。

議員

いつ頃完成予定なのか。

建設部長

現在、お示できない。



一般質問動画

選ばれる観光地づくり



や ぎ かつ 勝 己 議員

施政方針
観光庁が雲仙をモデル観光地として選定

議員 選定を受け、最大限の資源を生かすアクティビティの創出で、選ばれる観光地に向けた取り組みとは。

市長 雲仙観光局はマスタープランに基づき火山活動で育った食材を大自然の中で堪能できる天幕レストランや夜の雲仙温泉街のライトアップ、温泉神社を舞台に四面宮の歴史やエピソード等を披露する演劇を実施している。本市としても雲仙観光局が実施するアクティビティに主軸を置いた観光商品の造成について連携協力、支援をしていく。

水道水の水質検査結果

議員 水道水は水質基準があり、定期的に検査することが規定されているが、令和2年の厚生労働省の通知により、有機フッ素化合物の総称のPFASの水質管理目標が設定されたところがあるが、暫定目標値は。また、どんな物質か。

環境水道部長 PFASは、工業製品など様々な製品に使用されている。現在は輸入や製造が禁止されている。50ng/Lが暫定目標値である。

水道法の水質基準項目には該当しないが、水質管理上留意する必要がある、管理目標設定項目として位置づけられている。

※他の質問は上部の二次元コードからご覧ください。



一般質問動画

給食は安全安心が基本



お だ こう めい 小田 孝明 議員

次世代を担う小・中学生のすこやかな成長を

議員 小・中学校の学校給食費完全無償化の市長決断に敬意を表する。

その学校給食食材の地産地消の状況は。

教育次長 国産食材は野菜や肉など全体の約95%。輸入食材は、果物や外国産の大豆が原材料の豆腐などが約5%となっている。

議員 輸入小麦は除草剤のグリホサート成分に発がん性があると言われている。割高になるが国内産の食材と有機農産者の農産物を利用してほしい。

農林水産部長 現在、雲仙

こぶ高菜の1品目だが、令和10年度までに7品目の食材を計画している。主食の米も提供できるよう進めたい。

議員 学校給食に使用している水のPFAS（有機フッ素化合物）の数値はどうか。

環境水道部長 令和6年7月、市内48カ所で水質検査を行い目標値50ng/Lに対し17ng/Lと16ng/L、他の46カ所は、5ng/L以下であった。

議員 基準以下で安心ではあるがPFASは発がん性が指摘されているので、今後とも注意してほしい。

みずほすこやかランドの活性化

議員 プロジェクトチームは福祉、教育委員会で検討しているが、観光物産課、建築課、農林課、瑞穂総合支所の地域課長等、加えて全庁的な視点から検討してほしい。

総務部長 ご指摘のとおり、観光、農林、建設部等全庁的に広げ、協議を進めたい。

議会のうごき



令和7年2月16日(日)

雲仙市立岩戸小学校閉校記念式

雲仙市立岩戸小学校の閉校記念式典が開催されました。

岩戸小学校は、明治15年に中等西郷小学校初等木場分校として創立されましたが、近年の児童数の減少により143年の歴史を閉じ、4月から西郷小学校と統合されています。

これまでの伝統を大切に、児童が心豊かに成長されることを祈念します。



令和7年3月16日(日)

大亀矢代トンネル貫通式

主要地方道小浜北有馬線道路改良工事（仮称）大亀矢代トンネル貫通式が開催されました。

本路線は、雲仙市小浜町と南島原市北有馬町を結ぶ重要な路線であり、今回の工事により地域間の所要時間短縮と通行車両の走行性及び安全性の向上が図られます。

今後の工事の安全と早期完成を祈念します。

開かれた議会を目指して

雲仙市議会では、開かれた議会を目指し多くの市民の方に議会を傍聴して頂きたいと思っております。

最近では、「婦人会」「民生委員児童委員協議会」、市内各種団体の皆さまに議場へお越しいただいております。

本会議の傍聴はどなたでもできます。

皆さまも一度、議場での傍聴を経験されてみてはいかがでしょうか。

※事前の連絡は必要ありませんが、団体での傍聴を希望される場合には、議会事務局まであらかじめご連絡いただくと助かります。



車いすで傍聴できるスペースもあります!





行政視察受入一覧 (令和6年4月～令和7年3月)

視察日	市議会名	委員会 (会派)	視察内容
令和6年 4月17日	北海道 札幌市議会	公明党議員会 (会派)	小浜温泉バイナリー発電所
令和6年 5月16日	栃木県 大田原市議会	建設産業常任委員会	光り輝く雲仙力アップ事業
令和6年 8月 1日	岐阜県 高山市議会	新政たかやま (会派)	光り輝く雲仙力アップ事業 アドベンチャーツーリズム
令和6年11月 8日	鹿児島県 霧島市議会	観光振興議員連盟	観光振興や誘客の取り組み
令和6年10月24日	兵庫県 南あわじ市議会	創世クラブ・ゆずるはクラブ (会派)	光り輝く雲仙力アップ事業 (水産)
令和6年11月 2日	茨城県 小美玉市議会	議会運営委員会	光り輝く雲仙力アップ事業
令和6年12月19日	東京都 府中市議会	公明府中 (会派)	チョイソコうんぜん (デマンドタクシー)
令和7年 1月29日	長崎県 南島原市議会	議会運営委員会	議員定数・報酬改定
令和7年 2月 4日	新潟県 南魚沼市議会	歩む会 (会派)	定住政策・婚活支援
令和7年 3月27日	愛知県 豊田市議会	豊田市議会市民フォーラム (会派)	光り輝く雲仙力アップ事業

編集後記

去る1月中旬に、議会広報紙のコンクール入選の先進地研修（詳細は本紙内に掲載）を行いました。

広報紙づくりの素人集団であるため、他の議会広報の手法を学び第三者の視点での考え方を再確認したところです。

また、日本広報協会では本市の議会だよりについてのクリニック診断を行っていただき、自分たちでは気付かない点を多く指摘され、大変参考になるアドバイスをいただいたので、今後の紙面づくりに生かして多くの市民に読んでもらえる広報紙にしていきたいと思います。

(大山 真一)

議会広報編集特別委員会

委員長 大山 真一
副委員長 矢崎 勝己
委員 上田 篤、平野 利和
坂本 弘樹、藤本 淳次郎

議会を傍聴してみませんか？

令和7年第2回雲仙市議会定例会の
会期日程(案)は

5月29日(木)～6月27日(金)です

■一般質問

6月9日(月)～12日(木)

■議案質疑

6月16日(月)

■委員会

文教厚生常任委員会

6月17日(火)

産業建設常任委員会

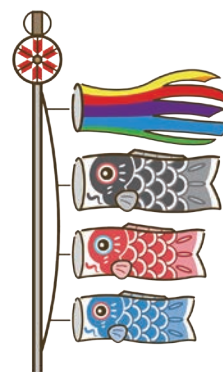
6月17日(火)・18日(水)

総務常任委員会

6月18日(水)

※一般質問の日程は、質問者数などにより変わることもあります。

※簡単な手続きで傍聴できますので、議場へ足をお運びください。



お知らせ

「議会だより」へのご意見ご感想がありましたら、議会広報編集特別委員会（議会事務局）までお寄せください。



この印刷物は、環境に配慮し再生紙と揮発性有機化合物を一切含まないNON-VOCベジタブルインキで印刷されています。
この印刷物は、読みやすいフォントを使用しています。